

展示室 1 英国風景画の巨匠ターナー



J.M.W. ターナー  
「サン・ゴタル峠の下り道」

ターナーは、ピカソと同じく早熟の画家でした。しかし、ピカソの父が美術教師だったのとは違い、ターナーの父は理髪店を経営し、母は肉屋の出生でした。幼少のターナーにとっては、ロンドンにある自宅から近いテムズ川が絵の教師でした。

父が経営する理髪店の窓には息子の描いた絵を自慢げに飾っていたそうです。ターナーの画才は、瞬く間に広まり、14 歳のときには、生涯にわたって所属することになるロイヤル・アカデミーの美術学校に入学します。

その後、画風は変わってはいきますが、風景画家を貫きました。幼少のころに見たテムズ川が彼の原風景なのかもしれません。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダーブリッジ	1810	油彩・キャンパス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	コニストンの荒地	1797 頃	水彩、鉛筆・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	サン・ゴタル峠の下り道	1848	水彩・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	橋と牛	1807	エッチング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	インヴァレアリィ・ピア、ファイン湖、朝	1811	エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ベリー・ポマロイ城（ラグラン城）	1816	エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	グラン・シャトルーズ近くの水車小屋	1816	エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	バトル修道院	1816	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティンタージェル城、コーンウォール	1818	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ベン・アーサー	1819	エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	クローヴェリー湾、デヴォンシャー	1824	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	エディスタン灯台	1824	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ブルーアム城	1825	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	海と空の習作	1825 頃	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	メッドウェイ川沿いのロチェスター	1826	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ウィットビー	1826	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	タイン川沿いのニューカースル	1826	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	スカーバラ	1826	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ドーバー海峡	1827	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カークストールの水門	1827	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	トットネス	1827	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	マーゲイト	1828 以前	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	大洪水	1828	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ストーンヘンジ	1829	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カレー沖の釣船（ドーバー海峡）	1830	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ボッカチオの庭（鳥かご）	1830	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ネッカー川対岸から見たハイデルベルク	1846	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ランプリス湖、北ウェールズ	1834	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	イースト・ゲート、ウィンチェルシー、サセックス		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	エグリメント氏の為の海景画		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	凧		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	橋と牛		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	泥炭沼、スコットランド		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティンタジェル		エッチング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ボスカースル		エッチング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	キャットウォーター、プリマス		メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティーズ川の流れ、ヨークシャー		ラインエングレーヴィング・紙
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンパス
エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンパス

## 展示室2 近代日本の美術



浅井忠「収穫」

明治以降、日本の美術はヨーロッパ絵画という異文化の輸入によって「洋画」「日本画」という区分が生まれるなど大きく変容をとげることになりました。油絵等が美術革新のひとつの道具として盛んに描かれるようになり、画家たちは日本固有の絵画の伝統と美意識を継承しつつ、西洋絵画の思想と表現を取り入れようとしたのです。明治から大正、昭和にかけて新しい表現様式がいくつも誕生し、日本の美術は独自の展開を遂げていきました。

今回は、各時代を代表する画家たちの作品を展示いたします。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
司馬江漢	飛鳥山図	寛政後期	油彩・絹
高橋由一	風景（鳥海山）	1880年代	油彩・キャンバス
浅井 忠	収穫	1893(明治26)	油彩・キャンバス
黒田清輝	東久世伯肖像エスキース	1894(明治27)	油彩・キャンバス
有島生馬	少女	1908(明治41)	油彩・キャンバス
岸田劉生	銀座数寄屋橋	1909(明治42)頃	油彩・板
木村莊八	道のある風景	1914(大正3)	油彩・キャンバス
満谷国四郎	冬	1922(大正11)	油彩・キャンバス
中川一政	冬の郊外（葱畑）	1918(大正7)頃	油彩・キャンバス
南薫造	雪の日の東京	1933(昭和8)	油彩・スケッチボード
藤島武二	「耕到天」習作	1936(昭和11)	油彩・キャンバス
倉田白羊	みのり		水彩・紙
小寺健吉	飯坂温泉		水彩・紙
吉田 博	積み藁のある風景		水彩・紙
大下藤次郎	赤城駒ヶ岳の紅葉	1907(明治40)	水彩・紙
安井曾太郎	公園風景	1928(昭和3)	水彩・紙
中西利雄	ヴァンスの雪	1929(昭和4)	水彩・紙
小野竹喬	(作品)		岩絵具・絹
玉村方久斗	(作品)	1922-23(大正11-12)頃	岩絵具・絹

## 展示室3 秋山泰計からくり世界



秋山泰計  
「おびからくり  
(少女⇄サルの親子)」

白黒の反転と交錯する輪郭を駆使した画面構成によって、ユーモアとアイロニー漂う独自の表現世界を確立した版画家・秋山泰計。身近な風景や人物を力強く表現していた初期の作品でも、たとえば忙しく働く大工を下から見上げるなど、ユニークな視点が見られます。1970年代以降は「おびからくり」と名づけた紙の造形作品を考案し、造形デザイナーとしても活躍しました。

木版画という伝統的な技法を自由に駆使して繰り広げられる秋山泰計のからくり世界。おびからくりと合わせてお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
秋山泰計	ひとり十人	1961(昭和36)	木版・紙	
秋山泰計	大工 A	1963(昭和38)	木版・紙	秋山照子氏寄贈
秋山泰計	大工 B	1963(昭和38)	木版・紙	秋山照子氏寄贈
秋山泰計	同行二人	1970(昭和45)	木版・紙	秋山照子氏寄贈
秋山泰計	同行二人（バリエーション）	1970(昭和45)	木版・紙	
秋山泰計	母子像	1973(昭和48)	木版・紙	
秋山泰計	母子像（バリエーション）	1973(昭和48)	木版・紙	秋山照子氏寄贈
秋山泰計	祭りの獅子（バリエーション）	1974(昭和49)	木版・紙	
秋山泰計	筋のない話（B）	1974(昭和49)	木版・紙 / 二曲一隻屏風	
秋山泰計	筋のない話（C）	1974(昭和49)	木版・紙 / 二曲一隻屏風	

秋山泰計	祭りの獅子 (バリエーション)	1974(昭和49)	木版・紙	
秋山泰計	冬狐 (バリエーション)	1984(昭和59)	木版・紙	
秋山泰計	Uzoo・渦	1985(昭和60)	木版・紙	
秋山泰計	Zoogan・象嵌	1985(昭和60)	木版・紙	
秋山泰計	Yaoyorozoo・八百萬	1985(昭和60)	木版・紙	
秋山泰計	三部作 夢の旅(Ⅰ)(群鳥)	1985(昭和60)	木版・紙	
秋山泰計	三部作 夢の旅(Ⅱ)(象・鬼牡丹)	1985(昭和60)	木版・紙	
秋山泰計	三部作 夢の旅(Ⅲ)(富士見逆さま)	1985(昭和60)	木版・紙	
秋山泰計	おびからくり (少女⇄サルの親子)		紙、布	三木多聞氏寄贈
秋山泰計	おびからくり (キジ⇄キツネ)		紙、布	田口安男氏寄贈
秋山泰計	おびからくり (ウマ⇄カバン)		紙、布	田口安男氏寄贈

## 展示室4 岸田劉生とその時代



岸田劉生「The Earth (大地)」

大正時代、日本には後期印象派、フォーヴィスムといった西洋の新しい美術の流れが次々に押し寄せていました。そんな中、岸田劉生、木村莊八らが中心となって結成した草土社の画家たちは、時代に逆行するかのように写実に徹し、神秘的な雰囲気を漂わせる作品を描いていました。

1915(大正4)年の第1回展ツツbンbから1922(大正11)年の第9回展まで開催された草土社とは、その名のとおり「草」と「土」という私たちの足元を改めて見つめ直した美術団体です。それは日本人としての表現を模索することであり、なおかつ、対象を見る自分自身、描いている自分自身を見つめ直す姿勢でもありました。

今回は、日本では工芸家として知られるバーナード・リーチから学んだエッチングなど、岸田劉生の版画にも焦点を当ててご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・形状
岸田劉生	天地創造 (3点組)	1914 (大正3) 年	エッチング・紙
岸田劉生	The Earth (大地)	1915 (大正4) 年	木版・紙
岸田劉生	葵の像	1915 (大正4) 年	インク・紙
岸田劉生	男之像	1919 (大正8) 年	水彩・紙
岸田劉生	照子像	1920 (大正9) 年	水彩・紙
制作者不詳	第2回草土社美術展覧会ポスター	1916 (大正5) 年	木版・紙
清宮彬	第3回草土社美術展覧会ポスター	1916 (大正5) 年	木版・紙
清宮彬	第6回草土社美術展覧会ポスター	1918 (大正7) 年	木版・紙
清宮彬	第9回草土社美術展覧会ポスター	1922 (大正11) 年	木版・紙
岸田劉生	『劉生図案画集』(聚英閣)	1921 (大正10) 年	木版・紙/ポートフォリオ
木村莊八	櫛の見える風景	1915 (大正4) 年	インク、水彩・紙
木村莊八	中島君の像	1916 (大正5) 年	水彩・紙
河野通勢	ソロモンの裁判	1919 (大正8) 年	インク・紙
河野通勢	聖書	1920 (大正9) 年	インク・紙
バーナード・リーチ	家	1912 (大正元) 年	エッチング・紙
バーナード・リーチ	北京の前門	1918 (大正7) 年	ソフトグラウンドエッチング・紙

## 展示室4 暮らしを彩るデザイン



C. ドレスサー  
「ケトルとスタンド」

日々の生活に役立てられる器や道具たちは、用途に限らず暮らしを豊かに彩る役割も果たしています。本来工芸作品には、人々の眼を愉しませるような色やかたち、質感などと同時に実用性が求められます。すぐれた作品には、作家の個性のみならず、卓抜した技と機能美に応じたデザインがみごとに調和しているのです。

今回は、郡山市出身のガラス工芸家佐藤潤四郎、イギリス19世紀末の工芸デザイナー、クリストファー・ドレッサーらの秀作を展示します。実際に手にした時の感触や使い心地を想像しながらご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤潤四郎	花器・灯もつけて		鍛鉄吹込
佐藤潤四郎	花器・何をしようか	1986(昭和61)	宙吹
佐藤潤四郎	花器・一寸考えて		宙吹
佐藤潤四郎	花器・穴があってちょっと考えた	1980-82(昭和55-57)頃	宙吹、カット
佐藤潤四郎	花器・アダムとイヴ		宙吹、エッチング
佐藤潤四郎	クリスタル六角鉢		宙吹
佐藤潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941(昭和16)頃	宙吹
佐藤潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		宙吹・グラヴェール・プランツ
佐藤潤四郎	ルーマー杯(グリーン)		宙吹・プランツ 長谷川貴子氏 / 石川和子氏寄贈
佐藤潤四郎	竹に雀文ワイングラス		宙吹・グラヴェール・プランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	タンブラー		型吹、他 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	『スーパーニッカ』手吹きボトル	1962(昭和37)頃	宙吹 川崎清氏寄贈
佐藤潤四郎	ウイスキーボトル『インペリアル』		機械生産 サントリー株式会社寄贈
クリストファー・ドレッサー	花瓶(赤色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	花瓶(緑色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	銀製ティーセット	1885	銀、象牙、金メッキ
クリストファー・ドレッサー	トーストラック(ポイントアーチ型)	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トーストラック	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	レターラック(円形、可動式)		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きケトル		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きダブル・バスケット	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	塩入れとスプーン	1884	銀
クリストファー・ドレッサー	蓋付きスープ入れ		金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	緑釉サラダボール(サーバー付)	1879-82頃	陶器、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	色絵草花模文隅切角皿	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様長皿	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	ナイフとフォークのセット		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	金彩筒型三足花器		磁器
クリストファー・ドレッサー	ケトルとスタンド		真鍮、銅

## ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント 細川明子氏寄贈
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
●2階展示ロビー			
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡 1・2 / 石で仏足跡		陶器 / 石 寄託作品
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ
佐藤忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ
高田博厚	アラン像	1932(昭和7)	ブロンズ
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ